

都市再生整備計画 事後評価シート

久留米市中部地区

平成29年3月

福岡県 久留米市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	久留米市		地区名	久留米市中部地区			面積		4.156ha		
交付期間	平成24年度～平成28年度	事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	1218.1百万円	国費率	0.40					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業	【道路】市道E498号線外3路線、【公園】寺山公園外2公園、【地域生活基盤施設】高良内多目的広場外1事業、【高質空間形成施設】市道C113号線、【高次都市施設】校区コミュニティ施設整備											
	提案事業	【地域創造支援事業】排水路改良事業 外											
			事業名				削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】甲塚古墳広場、防災備蓄倉庫設置 【地域生活基盤施設】耐震性貯水槽				地元調整に時間を要し、事業未着手であるため 事業内容精査の結果、交付金対象外の事業であるため		公園、生活道路・側溝の整備や防災対策、子育て支援体制等に関する市民の満足度を下方修正				
		提案事業	【地域創造支援事業】排水路改良事業外5事業				地元調整に時間を要し、事業未着手であるため						
	新たに追加した事業	基幹事業	【道路】市道E389号線外2路線、【高質空間形成施設】市道C113号線外				都市基盤の整備による安心・安全で暮らし易いまちづくりの創出		影響なし				
提案事業		なし				-		-					
交付期間の変更	当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
変更	-												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	校区コミュニティ活動に関する満足度	点／年	3.36	H23	3.43	H28	-	3.73	○	あり	校区コミュニティ施設整備と小地域集会場の整備を推進したことにより、地域の交流やまちづくり活動の活性化が図られた。 また、校区コミュニティ活動の場の一つである公園(諏訪野町公園)において、多目的トイレの設置により、利便性向上が図られた。 さらに、ゾーン30の設置や排水路改良により、校区内の安全性の向上が図られたことも指標へ良い影響を与えたと考えられる。	※H28年度施工分を反映した満足度をフォローアップするもの
	指標2	公園、生活道路・側溝の整備や防災対策、子育て支援体制等に関する満足度	点／年	3.05	H23	3.08	H28	-	3.35	○	あり	寺山公園・国分公園が完成には至っていないが、当該公園事業着手により、周辺住民の公園施策に対する機運醸成は図れたと判断した。 また、広場整備や道路改良、避難所標識設置に合わせて、排水路改良を実施することで、地区内の行政施策に対する満足度を押し上げることができた。	※H28年度施工分を反映した満足度をフォローアップするもの
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	校区コミュニティセンター(南校区)での地域活動の回数	人／年	19,332	H23			-	27,633			校区コミュニティ施設が建替えられ、部屋数等の増加や施設利用の利便性が図られたので、今まで活動するうえで施設を利用することがしやすかった団体等など様々な活動を行えるようになってともに、新たな活動への契機となった。	
	その他の数値指標2	避難勧告等、発令時における避難所1箇所あたりの避難者数	人／箇所	0.73	H27			-	1.11			避難所標識を設置することで、避難所の認知度の向上、及び避難路の事前確認の促進に寄与し、避難所への避難者数が増加したと考えられる。	
	その他の数値指標3	整備区域内の事故件数	件	6.0	H25			-	3.0			ゾーン30整備による警察の交通規制対策及び、交差点の明確化や車両幅員の減少などの速度抑制の効果が発現し、整備区域内の事故件数が減少したと考えられる。	
4)定性的な効果発現状況	■公園事業(一部用地取得)や多目的広場(敷地造成まで)による定性的な効果発現状況 ・事業着手したことによる周辺住民の公園利活用への機運の醸成ができており、供用後における地域内交流およびコミュニティ活動の活性化が期待される。 ・また、まとまった空地が確保できたことで、一時避難地として避難者受入可能人数の確保及び増加が図れた。 ■道路事業(拡幅整備・側溝敷設)による定性的な効果発現状況 ・狭小な道路を拡幅することで歩行者の安全性が確保されたり、側溝を整備することで路面や沿線敷地への雨水流入を抑制したりすることで、生活環境の改善が図られ、地域内交流が盛んで賑わいのあるまちづくりに寄与できた。												

様式2-2 地区の概要

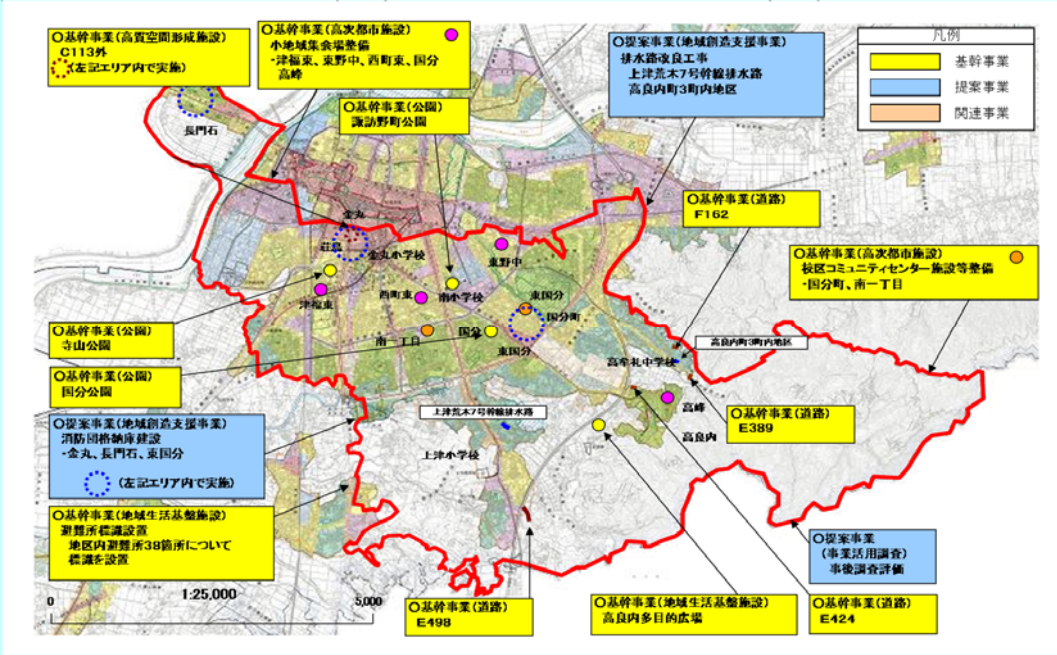
久留米市中部地区（福岡県久留米市）都市再生整備計画の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：市民の地域活動及び地域内交流が盛んで、賑わいのある安心・安全で暮らし易いまちづくり		校区コミュニティ活動に関する満足度	単位：点／年	3.36	H23	3.43	H28	3.73	H26
目標1 地域内交流が盛んで賑わいのあるまちづくり		公園、生活道路・側溝の整備や防災対策、子育て支援体制等に関する満足度	単位：点／年	3.05	H23	3.08	H28	3.35	H28
目標2 公園や広場整備により市民活動の場を提供し、外で活動したくなるまちづくり									
目標3 都市基盤や子育て環境が整備され、災害時への対応にも配慮した安心・安全で暮らし易いまちづくり									

【基幹事業】高次都市施設
校区コミュニティセンター整備事業



【提案事業】地域創造支援事業
排水路改良事業





【基幹事業】高質空間形成施設
市道C113号線外 ゾーン30整備事業



【基幹事業】地域生活基盤施設
避難所標識設置事業



まちの課題の変化

・久留米市の人口は、社会動態で平成25年度から3年連続で転入超過による人口増に転じているものの、今後、人口減少が見込まれている中で、特に住宅地が多く、ニーズも高い地区であるため、良好な居住空間創出が必要である。

・良好な居住空間創出のため、憩いの場の創出や地域コミュニティ活動の活性化や、浸水被害の更なる軽減が必要である。

・集中豪雨や大地震などの大規模災害が全国で発生していることから、地区内全体の防災意識の向上が求められている。

今後のまちづくり
の方策
(改善策を含む)

・良好な居住環境を創出するため、未整備公園の整備により憩いの場を提供する。

・良好な居住環境を創出するため、身近な広場の整備による憩いの場・地域活動・防災活動の場を提供する。

・浸水被害を軽減し、良好な居住環境を創出するため、排水路改良による浸水対策を図る。

・地区全体の防災意識の向上と、安全・安心な居住環境を創出するため、標識未設置の避難所へ標識を設置する。